

保育サポーター活動の取り組み（飯南町立赤来中学校）

■ 経緯・目的

- ・部活が終了した中学3年生の自己有用感や人間関係づくりと保育所で保護者の迎えを待つ園児の「相互間ニーズ」を上手く組合せた取り組みとして、平成19年度から実施。
- ・具体的には、中学3年生による保育所での「絵本の読み聞かせ」や「保育の手伝い」等。
- ・豊かな心を育てるとともに、望ましい職業観や勤労観を養っていく。

■ 活動内容

○活動時期：毎年度9月下旬から11月下旬の平日

○活動時間：17時頃から17時40分頃まで

○参加者：赤来中3年生の希望者

○活動人数：1日当たり2名

○場所：来島保育所、赤名保育所（生徒が卒園した保育所）

○活動内容：絵本読み聞かせ、保育の援助（園児とのふれあい）

- ・絵本の読み聞かせには、通常企画の絵本以外にも特注（読みかせ専用）の規格の絵本を活用。
※購入価格が高価（1冊7千円以上）であることから、町立図書館から借用。
※生徒の情操教育等に有効であるだけでなく、活動を通じた学校と地域との連携が強化。
- ・報告：活動後、活動日誌を記載

II 来島保育所（実際の活動を視察（生徒2名による絵本の読み聞かせ））

- ・通常の絵本並びに特大の絵本を活用し、読み聞かせを行ったが、児童は、終始行儀よく聞き、絵本に集中。終わる度に「ありがとうございました。」と声を合わせる。
- ・絵本の内容により、園児も声を合わせてかけ声を発したり、体を動かす等楽しそう。





- 過去に同保育所を卒園した園児が、町内の小学校卒業後、赤来中学校に入校し、同保育所で「絵本の読み聞かせ」を実施。

Ⅲ 赤名保育所（実際の活動を視察）

- 来島保育所同様、園児は、絵本の読みかさを非常に心待ちにしている様子。
- 読み聞かせの間、保育士は、幼児の保育に専任できることもメリット。
- 終了後、園児は、生徒を慕い、折り紙をしたり、一緒に遊ぶ等ふれあいを楽しんでいるよう。
- 聞きなれている絵本になると、生徒が読み上げる時に一緒に体を動かす園児。

